



KII+O:

+ クリエイティブゼミ vol.22

ゼミ概要

葦合南54号線を、市民や利用者が「自分たちの道」と感じ、愛着を持つことができ、どんどん利用したくなるような新しい仕組みや活用法、きっかけとなるイベントなどを考えるゼミを、一般の参加者を募集して開催しました。

日時 / 2016/11/12(土) - 2016/11/23(水・祝)

講師 / 永田 宏和  
(デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長)

ゲスト / 西尾 京介  
(株式会社日建設計総合研究所(NSRI)主任研究員)

主催 / デザイン・クリエイティブセンター神戸

協力 / 神戸市建設局道路部

ゼミスケジュール(全5回)

11/12(土)  
LECTURE レクチャー

神戸市が推進する道路のリデザインの目的を理解したうえで、道路に魅力を創出するために必要なことを、実際の活用事例から学び、また、フィールドワークで街を観察するポイントのレクチャーを受けました。



11/13(日)  
FIELDWORK フィールドワーク

実際に対象となる道路をみんなで歩きまわりました。道路の環境、使う人の様子、実際に使ってみてどう感じるかなど、様々な視点でリサーチしました。また、他のエリアにも足を伸ばし、街の中で道路がどのように活用されているか観てみました。



11/19(土) - 11/22(火)  
GROUPMEETING グループミーティング

各自のリサーチを発表し合い、それぞれのターゲットとしたいポイントや、希望する課題テーマをもとにチーム分けをし、対象道路を活用するアクションプランを話し合いました。



11/23(水・祝)  
PRESENTATION 最終発表

各チームごとにリサーチ・ミーティングを重ねて導き出したアクションプランを発表し、講師とゲストによる講評を行いました。



提案内容は中面へ!

INTRODUCTION

道路がなければ、人に会うこともできなければ、物を運ぶこともできなくなります。日々の暮らしの様々な場面で必要不可欠な存在、道路。その道路と私たちの関係が少しずつ変わってきています。ただ、移動するだけでなく、移動+αの要素が加わることで、道路がもっと魅力的な居場所へと変化します。

三ノ宮の目抜き通りフラワーロードの東側、JRの駅とみなとのもり公園をつなぐ葦合南54号線。この道路を対象に、市民や利用者が「自分たちの道」と感じ、愛着を持つことができ、どんどん利用したくなるような状況を考えるゼミ(+クリエイティブゼミvol.22「道路の未来を考える2実践編」)を実施しました。このリーフレットでは、そこで生まれた新しい仕組みや活用法、きっかけとなるイベントなどを紹介し、道路の未来をより多くの人と一緒に考えていきたいと思っています。

葦合南54号線の概要

「葦合南54号線」は、JR 三ノ宮駅前から、みなとのもり公園までを結ぶ道路です。神戸市は、市民ニーズや地域課題に対応するために、道路の利用環境や周辺の土地利用状況を十分に分析し、「交通機能の最適化」と「空間機能の向上」を図ることで、道路から「暮らしの豊かさ」を感じられる公共空間の整備を目指しています。「葦合南54号線」では、自動車交通中心の「交通機能優先の道路」から、歩行者が楽しみながら街を歩くことができるよう「空間機能優先の道路」へと再整備し、歩道の拡幅を進めています。



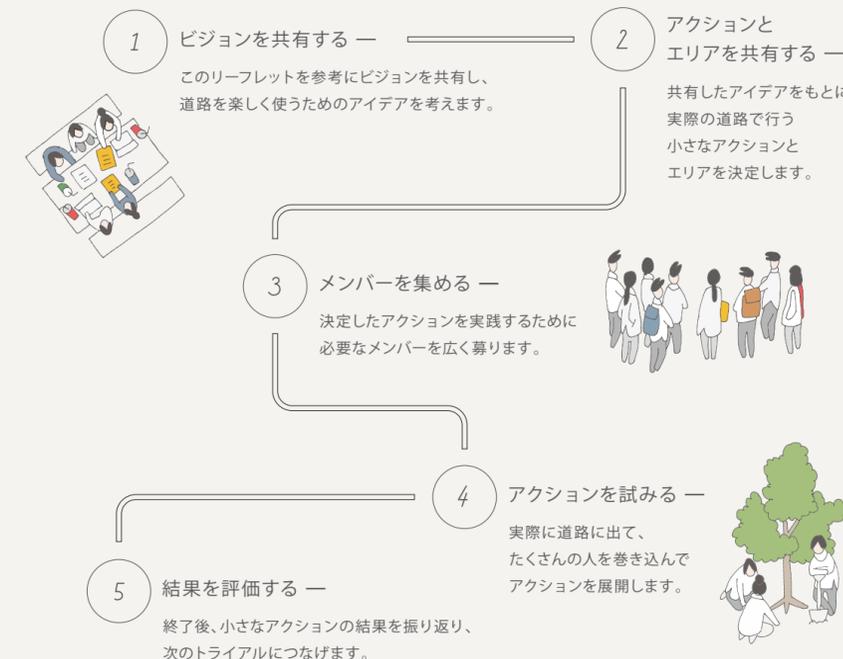
道路の未来を考えるためのQ&A

- Q なぜ道路に注目するの?
- A 自動車のために整備されてきた道路ですが、時代の変化のなかで、現代では歩行者のための道路として活用することが求められています。「公共」の概念が激しく変化している現代にあつて、「道路」について市民が考え、話し合い、提案し、実践することは、「公共」を私たちの身近なものとしてとらえるためにも、大きな意味があるように思います。
- Q 道路って、国や行政の持ち物ですよね? 一般市民が関わるの?
- A 道路は街の最大の不動産、市民にとっての貴重な財産です。それをどう使っていくかは私たち次第。私たちの知恵とアクションによって、暮らしの豊かさや、まちの価値が変わるとしたら、それってとても楽しくありませんか?

- Q 実際、道路でどんなことができるの?
- A そもそも道路が交通機能に占められるようになったのは100年ほど前からで、それまではコミュニケーションの場として使われていました。いま世界中で、自動車のためだけではない道路の活用のしかたについて議論されています。
- Q 道路を「活用する」ためには何が必要?
- A 自分たちの場所として使いこなすためのしかけがあること、どのような人を、どのように巻き込むかという仕組みが重要です。大きな枠組みの中だけで考えるのではなく、関係するさまざまな人たちの、小さな貢献の集積が、街全体の公共空間の創出に役立つような仕組みを考えることが求められています。

これからの道路を変える道標

道路の未来を考え、周辺の街の魅力を高めるために、次のようなプロセスを想定しています。



2017年3月発行  
制作・発行 | 神戸市、デザイン・クリエイティブセンター神戸  
協力 | 西尾京介(株式会社日建設計総合研究所(NSRI)主任研究員)  
編集 | 川勝真一(RAD)  
デザイン | 前田健治(mém)  
イラストレーション | 野口理沙子 + 一瀬健人(イスナデザイン)

KII+O:

## 葺合南54号線の未来

クリエイティブゼミで生まれた「葺合南54号線」を楽しく変えていくための3つの提案を紹介します。こんな道路の使い方があったらいいな、こんな場所になればいいなというビジョンやアイデアがたくさん詰め込まれています。これらは、今すぐに実現するべきものと言うよりは、ここに描かれている出来事を踏まえ、より多くの人とともに道路の未来を考えていきっかけになればと考えています。

- 注 1:本イラスト上の提案は実際の道路の改修計画とは異なります。  
2:クリエイティブゼミでの発表内容に一部補足し表現しています。  
3:この提案を実現していくのではなく、これをきっかけに実現可能なアイデアを探っていきます。

### MAPの上描き

付録のシールには、道路で使える家具や植栽、楽しいシーンが揃っています。このシールを使って、街をもっと楽しくなるような道路の使い方を、自分の手で追加し、この地図をどんどん上書きしてみてください。

提案その1

### ART STREET アートストリート

#### 道そのものに魅力を追加する

今ある環境にアートをプラスすることで、道路の魅力を最大限に引き出し、普段とは違う楽しみ方を提示します。おみくじや、パブリックビューイングなど、初めて訪れた人も気軽に参加することができます。



〈現在の周辺道路の様子〉

提案その2

### LIVING STREET リビングストリート

#### 家の中の行動を道路にもちだす

家のようにくつろげるスペースを道路につくります。青空の下で読書や昼寝を楽しみ、街の中に自分の居場所を持つことで、いつもの生活をより豊かにすることができます。様々な人々が自由に道路を活用することで、道路や街に賑わいが生まれます。



〈現在の周辺道路の様子〉

提案その3

### PARK STREET パークストリート

#### 公園を道路にひろげる

みなのもり公園でおこなわれている緑化活動を、道路にも広げて、道路と公園を一体化します。道路が公園のように緑豊かな場所に生まれ変わり、心地よく散策できる場所になります。



〈現在の周辺道路の様子〉